

市民がつくる
市民が学ぶ
市民が拓く
生涯学習情報誌

Stage

月刊ステージ・アップ

up

'95
11 月号【1日発行】

かわさき市民アカデミー、初の卒業式
自分探し、生きた学習できた！



いまを話す

地球家族の会代表 千葉茂樹さん
最も貧しい人々の痛み知り共感を

Stage Up 11 月号もくじ/1995年

◇かわさき市民アカデミー、初の卒業式 — 3

自分探し、生きた学習できた!

■ほんねインタビュー いまを話す

地球家族の会代表 千葉茂樹さん — 4

最も貧しい人々の痛み知り共感を

◆はりきってます グループ紹介 — 8

日舞で地域や外国と交流する

—— 扇乃会(中原区)

水墨画を楽しむ

—— 愉墨会(宮前区)

◎学習・文化情報/会員募集 — 10

◆「ひかりの村建設」チャリティーコンサート — 13

○ミニニュース/編集後記 — 15

かわさきニューイヤークンサート — 15

◎表紙絵……釧路湿原 — 田中 保さん

(小誌は再生紙を使用しています)

川崎市とどろきアリーナオープン記念

好評発売中

ラップ & ロール フェスティバル

☆ 12月7日(木) Rap Night
出演 MCAT・B-G-B
EAST END X YURI ほか

☆ 12月8日(金) Rock Night
出演 中村あゆみ・ZIGGY ほか

開演 午後6時30分 開場 1時間前(両日とも)
入場料 各日 4,500円・4,000円(全席指定)



EAST END X YURI

95川崎カップ国際体操競技大会

—— 世界のトップクラスが一堂に集結!! ——

12月19日(火) 午後5時 開演 午後4時開場
入場料 一般 4,000円・2,000円 高校生 1,000円 小中学生 500円

95かわさき市民5,000人第九コンサート

12月10日(日) 午後3時30分 開演 入場料 1,000円

●指揮 堀 俊輔 ●独唱 佐竹由美、河野由美子、鈴木与志一、箕輪 健

問い合わせ 川崎市とどろきアリーナ ☎(798) 5000
(万一チケット売り切れのせつはご容赦下さい)

「かわさき市民アカデミー」初の卒業生 自分探し、生きた学習でできた!

市民が学びあい、高めあい、助けあう「かわさき市民アカデミー」の第一回「修了のつどい」が九月三十日、川崎市中小企業・婦人会

館であり、二年間の課程を終えた初の卒業生(修了会員)四十九人が「小さな意義を発見する旅」(篠原一・学長代行)東大名誉教



安西信夫さん

深澤佳子さん

▲修了生を励ます
篠原一学長代行



▲晴れやかな表情で「卒業式」に臨む修了生

授へ羽ばたいた。つどいには在校生(会員)や講師らも参加して修了者が「市民アカデミーで学習した成果を生かし地域社会に役立て」市長代理、館健三・市教委教育次長)ることを期待した。どの修了生も「自分探しのため入学したが、生きた学習ができた」と青春真っ直中のような笑顔だった。

★

「つどい」のはじめに篠原学長代行が修了生にお祝いのことば。「先進国では、今後も労働時間の短縮が進み、時間のゆとりが出る。その時間を人に与えることが大事。アカデミーは一人ひとりが質的に高まり、時間を人に与える専門的な第二の学習」と述べた。

そして二年間の学習を基に「自主的に研究を進める本当の生涯学習を」と励ました。さらに「はく然と過ごすのではなく『意味』を感じて充実した生活を」と話し、この日が「小さな意義を発見する旅立ちの日」と期待を込めた。

かわさき市民アカデミーは、学習期間が長く、多くの講座があり、ゼミを重視する全国的にも初めての試み。同学長代行は「欠点もあったが、欠陥を克服することが大事。講座や運営に注文を出して」と、呼びかけた。

第一回生は六コースに百十二人が在席。修了生は二年間で六十単位を取得した人たち。五年以内単位を取得すればよく、他の一回生はマイペースで学習をつづける。在校生代表の清水素子さん(45)は「昨年四月、生活系に入学したが素晴らしい講義と演習で程よい緊張感。生涯学習とは生涯青春。卒業生の今後の活躍をお祈りする」と話した。

修了生を代表して、安西信夫さん(74)と深澤佳子さん(53)が二年間を振り返った。安西さんは「一昨年リタイヤシ『このままで』』と思い人間学コースに入り、興味あるジャンルを専門的に学び大変勉強になった。今後、他のコースを聴講したい」と意欲的。深澤さんは「自分探しのために学習し、知識を得て自分の判断を持ちたいと学んできた」と述べ、出会いの楽しさにもふれた。

(取材・小川忠則、熊野史子)

いまを話す

ゲスト

地球家族の会代表

千葉 茂樹 さん

Vol. 39



「マザーテレサとその世界」のビデオを見て、心が打たれました。テレサとの出会いは。

千葉さん 一九七四年、ベルギーで国際養子のドキュメンタリーを撮った時です。養子のインド人の子供に「どこから来たの」と聞くと「マザーテレサの家から」というんです。「マザーグースではないの」と聞き返し、あきれられたんです（笑い）。

七九年にノーベル平和賞を受賞するまで、日本では、ほとんど無名でしたものね。

最も貧しい人々と連帯へ

痛み知り共感を

無関心な日本人に映像通し働きかけ

「地球家族の会」は、貧しい人々への支援を続ける市民グループ。その代表の千葉茂樹さんは映画監督。祈りと愛の実践者、マザーテレサ（ノーベル平和賞受賞者）との二十一年前の出会いが千葉さんの生き方を変えさせた。「映像作りを職業と考えるだけではダメ。多くの人が最も弱い立場の人々に目を向ける作品を」。だが、豊かな日本人が最も貧しい人々へ向ける視線は……。限りなく不屈な若者も増え、心を育てる時間を奪った戦後五十年なのか。しかし、ひげ監督には悲観も気負いもない。「人間づくりの根本は家庭。地球家族は血縁を超えた共同体。皆が役割分担をすれば」と明るく話す。インタビューは女の生き方を見詰める椎野和枝さん。

千葉さん それで早速、ロンドンの本屋で写真集を求めて「パン グラデシユが独立した七一年に、三十人のシスターを連れて、難民キャンプにとび込み、コレラと闘いながら救済活動をした」ことを知りました。でも、これほど献身的な人物がいるとは、すぐに信じることができませんでした。そこで「ぜひ彼女に会ってみたい」と思い、二年後の七六年に妻と二人でインドに行きました。

どなたかを介されて、会われたのですか。

千葉さん いいえ。しかし、そんな我々にマザーテレサは一生懸命話してくれたんです。「貧しい人、病んでいる人、苦しんでいる人は素晴らしい。貧しい人と共に生きるのもっと素晴らしい」と。けれど、正直なところ「本当にそう思えるのか」という感じでした。

「貧しい人は気の毒と考えるのが普通で、素晴らしいとは。」

千葉さん 僕は職業柄、その人の裏側を見ようとして、素直に人を信じない（笑い）。でも、二週間ほどカルカッタ、ニューデリーを歩いて、これは日本人に知ってほしいと思ったんです。



▲マザーテレサと握手する千葉さん



▲獣医の神戸さんと話しあう千葉さん(マサイ村で)

「なにを知らせたいと?。」
 千葉さん 日本は豊かになりま
 したが、貧しい人、苦しんでいる
 人への関心が薄いですね。映像を
 通して、その存在や痛みを知って
 ほしいと考えたんです。マザーテ
 レサの奉仕センターには、捨てら
 れた子供、病んでいる人、貧しい
 人がいました。その人たちに接し、
 まず共感が大切だと思います。

「かわいそう。こんな人がいるの
 か」と見過ごさないで、立ち止ま
 った考えることが大事なんだと。
 マザーテレサと向き合って、
 最も感動した点は何でしょうか。
 千葉さん 愛を実践する姿です。
 それは僕の生き方を変えたほどで
 す。よく「社会改革が必要」とい
 いますね。マザーテレサの活動は
 生活の中から意識を変えるんです。

「彼女の考えに共鳴した背景
 には何があったのでしょうか。」
 千葉さん マザーに会った時、
 おふくろとどぶつて見えまして。
 僕は九人兄弟で長男が身障者なの
 です。その兄貴をおふくろは「お
 兄ちゃんほうちの宝」と言つて、
 どこへでも連れていきました。ま
 た、物乞いが来れば縁側に上げて
 握り飯を食べさせました。おふく

ろは弱い者への共感を持っていま
 した。父親は違いましたが。
 シナリオライターとして活
 躍された時期もありましたが。
 千葉さん ある事ないこと、う
 そを書くのが仕事です(笑)。そ
 れだけに耐えられずにドキュメン
 タリーを手掛け始め、マザーに出
 会えたのです。撮影の冒頭で、マ
 ザーが若いシスターたちに「職業
 は単なる食べる手段ではない。そ
 の使命に生きなさい」と言つたん
 です。僕に言われた感じがして、
 映像づくりを職業と考えるだけで
 なく、人間として成熟するステッ
 プにしたいと思つたんです。
 「それが「地球家族の会」に
 つながったのですか。
 千葉さん ええ。最初のきつか
 けは、チャリティー映画会で集め
 た献金をマザーテレサの施設やN
 GO(非政府組織)に送つていま
 した。その仲間が、映画「こんに
 ちわ地球家族 マザーテレサと国
 際養子」の製作の際、費用を支援
 してくれました。これが契機にな
 って「テレサの『愛は家庭から始
 まる』この言葉を実践できれば、
 住みよい地域社会ができるのでは
 」と、八五年に「地球家族の会」を

マザーテレサに学び 生活意識の変革を

人づくりの根本に 心開きあろう家庭

スタートさせました。会の合い言葉は「家庭が変われば、世界が変わる」です(笑顔を絶やさずに)。

会の活動の大きな柱は。

千葉さん 貧しい人々との連帯、市民レベルでの国際協力です。それには正しい国際理解、異文化への尊敬、地球環境の保護、いのちの連帯などが大事で、映像を通しての啓発活動を進めています。

それで、九一年から「アフリカの角・二百万難民」、骨髄バンクへの協力を訴えた「いのちよ輝け」「ねむり病とたたかう日本の獣医さん」を製作され、全国で映画会を開いているのですね。

千葉さん 地球上の痛みを知ってほしい、知れば共感が得られ、何かを始めたいくなる、そういう出会いにしたいのです。家族で同じ映像を見れば、共通の話題が生まれ、何かを感じあい話し合う。異質な考えを受け入れ、家族が心を開くことは大事です。

家庭の大切さを強調されましたが、危機があるとお考えですか。

千葉さん 激変の時代ですが、家庭の機能が、他で代替されるような錯覚がないでしょうか。僕は、いつの時代にあっても、人間を作る根本は家庭だと思っています。

家族の在り方が多様になっ



85歳のマザーテレサ

ている中で、さまざまな問題があるのは事実ですね。

千葉さん 血縁で結ばれた親子を超えた別の共同体が、地球家族という考えです。つまり、「Living is sharing」

「生きることは、分かち合うこと」を実践することです。自分の家族だけが良くなるのではなく、隣同

士とか一人暮らしのお年寄りと連帯し、貧しく苦しんでいる人の目を常に持つ。それが地球家族の資格です。マザーがいうように、見捨てられていく存在、最も貧しい人への視点が大事です。

千葉さんの家族は地球家族そのもので、ベルギーの取材も家族五人で行かれたそうですね。

千葉さん 僕はなるべく奥さんに従うようにしています(笑)。マザーの撮影許可が得られたのも、彼女のお陰です。直観的で行動的などころがありますね。

ほー。マスクミ嫌いのテレサが、許可をくれたのは奥さんの力だったのですか。

千葉さん 国際養子の映画の資金づくりも彼女です。横浜銀行の支店長に「融資しなかつたら、貴方は損をしますよ」と掛け合い、支店長が「こんな人は初めてだ」と半ばあきれながら、趣旨を理解し担保なしで貸してくれました。金融機関の偉い人は融通が利かないと聞きますが、この支店長は国

際人です(楽しそうに)。

いいお話ですね。会の活動費はどうしているのですか。

千葉さん 約三百五十人の会員がいますが、会費は取っていません。大切なのはそれぞれの心、意思です。喜びが見いだせたら、お金、お手伝いの提供をしてもらっています。意識が変わることが大事です。アフリカで活躍の獣医・神戸俊平さんを招いた時、会場で十数万円も集まり、このお金で神戸さんが牛を三頭に増やし、その利益でアフリカ・マサイの少年が中学校に通っています。

自主性を尊重する運営は、大変参考になります。

千葉さん 募金箱を家庭に置いて、年末にお金を送っていただく

千葉 茂樹 さん

ちば・しげき=1933年、福島県生まれ。福島大学経済学部、日本大学芸術学部映画学科卒。新人シナリオ作家コンクールに入選後、大映東京撮影所演出部を経て近代映画協会に参加。映画代表作に「こころの山脈」「モスクワわが愛」が。テレビ・舞台・教育短編の脚本、演出も。78年制作のドキュメンタリー映画「マザーテレサとその世界」は国内外8つの映画賞を受賞。85年、貧しい人々を支援する「地球家族の会」を設立し代表に。現在、日本映画学校副校長、アフリカ日本協議会理事。妻・好美さん、一男二女と多摩区に在住。

「一五平和基金」は、家族の認知が必要で。昨年暮れ、北海道のおばあちゃんに内職の七万円を送ってくれました。アメリカの女の子はよく手紙をくれます。私の映画づくりも半分は使命感、半分は論しみます。

千葉さんは、日本映画学校の副校長ですが、人間教育についてのお考えをお聞かせください。千葉さん 創設者の今村昌平は、



「表現者は人間に興味を持つことから出発する」と言いました。僕の視点は人間プラス社会です。社会の仕組みや世界の状況は、我々と無関係ではないのです。関心度を深めることは、将来、表現者としても役に立つのです。しかし、今の学生は世の中のことに無関心です。それは、小・中・高校教育が詰め込み・押さえ込み主義で、人間が解放されていないためです。

若者だけでなく想像力、創

造性に欠ける人が増えていますね。

千葉さん 消費生活に満足し、一見、満たされた社会で創造性を持たなくても生きていけます。この夏、先住民族や少数民族から見た「もう一つの戦後五十年」というフォーラムに、うちの学生が参加し、いろんな人と共同で仕事をし、「学校で勉強するより面白い」と。教育の場とは、創造性を与える場のことなんです。若い人が関心を持つ「開かれる機会」をいっぱい作ればいい。映画製作というのは、愉しみの延長の中で、世の中に少しでも役に立つ作品を作ることなんです。

今後の活動についての夢はなんですか。

千葉さん 市民グループの作品は、僕にとっても開発教育教材ともいえます。自分の心が開かれていくと、自分の使命が見える。それを基点にしたいですね。心の中にあるものを発掘し、わかり合い、力にする開発教育を皆で進めたい。マザーが「私たちにとつ



椎野和枝さん

て最大の敵は無関心だ」と言っています。さまざまな問題への接近は、関心を持つことから始まり、共感し、行動へです。

市民が、地球家族へ一歩、一歩近づくことは素晴らしいと。

千葉さん マザーが愛を実践する時、美しさが三つあるんです。祈りが込められた丸い背中。愛を実践してきた大きな手。そして貧しい人々の声を一生懸命聞く姿。そこには謙虚さと強さがあります（一つひとつの言葉を確認するよう）。

マザーテレサが偉大過ぎて、役立ちたいと思いが、ためらう人もいると思うのですが……。

千葉さん 愛、命、平和を否定する人はいません。原爆、核につ

いてはノーですね。そこです。ある人は、家庭から一歩も出られないかもしれない。しかし、子育ての視点は持っているはず。マザーは「愛の働き、平和に向かう働き。皆それぞれの立場で分担しましょう」と。

自分の出来る役割を探し、実践することですね。

千葉さん 取材中、僕らがボランティアで掃除をしていたら、マザーが「やめなさい。あなたたちは、私たちの映画を作り、皆知らせるために来たのだから。暇ならホテルに帰って休みなさい。あなた方には、大事な使命がある。あなたに出来て、私に出来ないことが山ほどある。私たちが出来て、あなたが出来ないこともある」と言うのです。すごく楽な気持ちになりました。

題字は高橋清・川崎市長
構成／野々川千恵子
文責／田中 園

編集チームから 千葉茂樹監督のドキュメンタリー・ビデオを借りた方は☎044(966)7078の市民グループ・地球家族の会へお問い合わせ下さい。

愛。平和の実践は各自の立場で

はりきってます グループ紹介

仲間と楽しむ 学ぶ 活動する 生き生きと。



お年寄り、外国人の 拍手に喜びと励み

ふれる機会の少なくなつた日本舞踊を、地域のお年寄りや、川崎市姉妹都市に紹介・交流を深めているのは、中原区の「扇乃会」

場、文化祭での演目「六段」連

田舞い地域や姉妹都市への交流活動

扇乃会 (中原区)

獅子」のけい」。磨き抜かれた板の間に、琴の調べが響き、凜と張りつめた空気が漂う。

蝶のように扇が舞う。やがてリズムカールに胸の小鼓を打つ。流れるようなバチの動きで散る花を表現する場面は、ぎこち無くならないようにと、藤嶋さんのお手本で入念に練習。動きをため、呼吸をためて、あふれるように次の所作に移る。時折、床を踏み鳴らす足拍子が、静けさを破る。

首の振りかたから、目の使い方指先、爪先まで体中の神経が研ぎ澄まされる。重心を落とし、軽やかに運ぶすり足にも、日頃の鍛練が秘められ、観客の心をつかむ。一曲踊り終えると、ハアハアと息が弾む。

同会は一九六七年、日本舞踊家の藤嶋さんが「社会に役立ちたい」と弟子たちと発足。ホームのお年寄りや留学生に教えたり、お正月、七夕などの行事に参加、積極的に地域に出ていった。

七六年に藤嶋さんがアメリカテキサス大学で日本文化の講師を努めてからは、民間の文化使節として川崎の姉妹都市リ工カ、ポルチモア、瀋陽を会員と共に訪ね、国

際交流に貢献している。

そして、八九年の中原区文化協会講習会終了者の「舞い扇」や昨年の講習会終了者の「患扇会」、さらに同会の趣旨に賛同した人も加わり、大きな組織に発展した。

「舞い扇」の山口八百子さん(59)は「けい」は厳しく、投げ出したくなることもありますが、留学生やお年寄りの笑顔が励み」と時間を見付けて通う。

他流派だった松永和子さん(63)は「日舞をボランティアで再び踊れて意欲が沸きました。」と幸せそうに笑う。

二年前、くも膜下出血で生死をさまよった岩本真知子(57)さんは「病後、趣味を持つと」と始めました。命の素晴らしさを満喫しています」と目を輝かす。

代表の藤嶋さんは「日本舞踊はとつぎにくいと思われがちですが古典だけでなく民謡や歌謡曲など親しみやすい踊りで、これからも地域や国際交流のお役に立ちたい」とこやかに話す。

同代表宅は、中原区中丸子七一〇。(4222)5012。

文／小誌・熊野史子
カメラ／小誌・山本綾子

はりきってます グループ紹介

水墨画を楽しむ

愉墨会 (宮前区)

墨と筆を使って、季節の花や果物などをモチーフに水墨画を描くのは「愉墨会」。松下浩代表(65)ら会員二十九人。毎月第一、三水曜の午後、宮前市民館管生分館で、一筆一筆に愛情を込め、墨の濃淡に芸術性を追求する。この日のモチーフは「ケイトウ」の花。二種類のケイトウを前に、和紙に向かつて精魂を傾ける。

まず、董沙貝和光大学芸術学科講師がケイトウを描きながら「絵は構図で決まります。生け花と同じです。茎を薄く描くと花が引き立ちます。ケイトウは葉が難しい。手前の大きな葉と奥の葉の空間に小さな花を描くと立体感がです。芸術ですから、虚実の工夫を」とアドバイス。会員たちは、董講師の「生きた手本」を真剣なまなざしで見つめる。

筆に水を含ませ、筆先に墨を付けて毛先をそろえ、一気に下から上へ茎を描く男性。筆先を紙から

離さず、筆の腹を微妙に動かして花びらを表現する女性。イメージどおりの花に近付けようと、どの顔も真剣そのもの。

墨と水で幻想的
色の世界を演出

墨と水が溶け合う。白の空間に、潤いのある淡色や力強さを感じる真っ黒な線が浮かぶ。原っぱに生えたケイトウ、数種類のケイトウに朱色を入れた「南画」。花への思いがにじみ出る。幻想的な色彩のそれぞれ作品からは、虫の音が聞こえそう。会員たちは「墨と水のハーモニー」による濃淡の意外な色が表れるのを楽しんでいるようだ。

上達の秘けつは、植物をしつくり観察し、描きたいと思うものを数多くスケッチすることだという。また、優れた絵や会員の作品を見て、絶えず自分を磨くことも欠かせない努力。

同会の誕生は二年前の春。管生分館の成人学校受講者が集まりスタートした。

「自分の作品の長所、短所を生や会員から指摘してもらうことが楽しく、上達につながります。一生続けていきたい」と笑顔で話すのは伊達美千子さん(75)。

小林広さん(67)は「画集だけに頼って、実物をよく観察しないと描けません。葉の重なり合い、こぼれ日表現でできるような絵を描くのが目標」と意欲を燃やす。

松下代表は「私にとって、会員たちは地域で出会った初めての仲間。みなさんと楽しく水墨画が描け、生涯学習になりそうです。全員で中国へスケッチ旅行をするのが夢」と笑顔で話す。

同代表宅は、宮前区平一の一六の五二。☎(866)8884。

文／小誌・山本綾子
カメラ／小誌・熊野史子

仲間と楽しむ

学ぶ

活動する

生き生きと。

学習・文化情報

探していた講座がある

講座・講演

①七宝焼入門②親子版
画教室③アウトドアで知る
自然の楽しみ方◆県立高津
青少年会館①は11月7
21日の毎週火曜日19時から
対象は青年②は11月19日
(日)14時から年賀状を作
る。対象は小学生と親③は
11月23日(木)13時半から
定員は①10人②50人③30人
申し込みは☎(844)2
101の同館。

「古文書講座「古文書か
らみた川崎の歴史」◆市公
文書館」11月18、25日、12
月9日の土曜13時半から。
古文書の読解方法を学び、
歴史的知識を習得。講師は
村上直・法政大教授ら。初
級者で3回受講できる人。
無料。定員30人(抽選)。申
し込みは10日(金)までに
往復はがきに住所、氏名、
年齢、職業、電話番号を記
し〒211中原区宮内4の
1の1、同館・古文書講座

担当☎(733)393
3。武蔵小杉駅からバス。
①わくわく実験教室②
やさしい先端技術講座③ワ
ープロ教室◆東芝科学館①
①は11月11日(土)10時と
13時から「電気を通すもの
通さないもの」をテーマに
実験を交え説明。定員各2
50人②は11月17日(金)
10時と13時半から「次世代
映像記録媒体DVD」と題
し、高画質で長時間映像記
録ができるDVDを解説。
定員各250人③は11月21
日(火)22日(水)の9時
半、13時半から。ワープロ
で年賀はがき作り。各講座
無料。③教材費千円。申し
込みは☎(549)220
0の同館。川崎駅下車。

「食生活講座」中華料理
でホームパーティー◆麻生
老人福祉センター」12月6
日(水)。60歳以上の男▽12
月13、20日の水曜のどちら
かを選ぶ。60歳以上。いず
れも9時半から。定員は各
18人。教材費600円。エブ

市外同番のないものは044

ロン、筆記具持参。申し込
みは11月1日(水)から希
望日の1週間前までに☎
(966)1549の同所。
「桜美林大学公開講座◆
同大学外国語センター」11
月9日(木)午前「アメリ
カ合衆国の「人種」問題」、
午後「共に生きる」知的障
害児と共に25年」▽16日
(木)午前「音楽鑑賞」バ
ツハの音楽と生涯をたどつ
て、午後「くらしのなか
の古典」万葉集を中心に」
▽30日(木)午前「美術鑑
賞」アメリカの美術館を巡
って、午後「多文化との出
あい」。いずれも時間は午前
10時半と午後1時から。受
講料1回千円。申し込みは
はがきに住所、氏名(フリ
ガナ)、電話番号、郵便番号
を記し〒194102町田
市常盤町3758、同セン
ター☎0427(97)
2661内線276。淵野
辺駅からバス。

「①わら細工・しめ縄作
り②古建築サロン◆日本民
家園」①は12月3、10日の
日曜10時から。定員各30人
(抽選)②は毎月第1土曜
13時半から。日本建築の基
本構造、特徴を太田博太郎
・東大名誉教授が解説。受
講料①1回500円②千円。
申し込みは①11月4日必着
で往復はがきに住所、氏名、
電話番号を記し〒214多
摩区枳形7の1の1、同園
②は当日。問い合わせは☎
(922)2181の同園。

「講習会①冬の庭木管理
②春の七草の鉢作り③正月
の寄せ植え◆市緑化センタ
ー」①は11月29日(水)②
は12月7日(木)③は12月
8日(金)の13時半から。
教材費①なし②700円③4
千500円。定員各30人(抽
選)。申し込みは①11月20日
②27日③28日までに往復は
がき(1人1枚)に講習会
名、住所、氏名、電話番号
を記し〒214多摩区宿河
原6の14の1、同センター
☎(911)2177。

「クリスマス・フラワー
デザイン講習会◆川崎市民
プラザ」12月3日(日)
5日(火)10時半と13時半
からクリスマスリース作り
からクリスマスリース作り
教材費千500円。定員各10
人(抽選)。申し込みは11月
20日(月)必着で往復はが
きに住所、氏名、年齢、電
話番号、希望日、時間を記
し〒213高津区新作1の
19の1、同プラザ「同講習
会係り」。同プラザでは「趣
味の教室」の会員を募集。
入会金3千円。会費月額4
千円。問い合わせは☎(8
88)3131の同所。

「市立看護短期大学公開
講座◆同大学講堂」12月9
日(土)13時から「健やか
で豊かなシルバライフを
目指すための老いの探検学」
無料。先着300人。申し込
みは往復はがきに住所、氏
名、電話番号、返信用にあ
て先を記し〒211幸区小
倉1541の1、同大学公
開講座担当☎(587)
3502。川崎駅西口か尻
手駅からバス。

学習・文化情報

学習・文化情報

参加したい催しがある

「社交ダンス初心者講習会◆中原市民館」11月10、24日、12月1、8日の金曜18時40分から全4回。無料。申し込みは☎(733)0959の進藤さん。中原社交ダンス研究会主催。

「フラワーアレンジメント講座「クリスマス編」◆麻生老人福祉センター」12月7日(木)9時半と13時から。60歳以上。費用2千円。定員は各先着15人。花はさみ、ナイフかカッター、筆記具持参。申し込みは11月20日(月)から☎(966)1549の同センター。

「福祉講演会◆川崎授産学園」11月20日(月)10時から「今、求められるボランティアとは」をテーマに森久保安美・前産業能率大教授が講演。無料。定員50人。問い合わせは☎(954)5011の同園。新百合ヶ丘駅からバス。

「働く女性と介護・リストラ・均等法◆県川崎北労働センター」11月8日(水)「リストラ時代と働く女性」▽10日(金)「どうする、親が突然倒れた時」▽14日

(火)「均等法10年、働く女性はいま」いずれも時間は18時半から。無料。定員は各40人。申し込みは☎(722)0171の同センター。

「雇用環境激変下におけるこれからの賃金システム」12月7日(木)12日(火)18時半から。無料。申し込みは☎(233)7351内線284の県川崎労働センター(主催)。

「かわさき女と男のフォーラム◆中原市民館」11月17日(金)10時から「わたちの50年―つなごう明日へ」をテーマに午前は子育て、老人介護などの分科会▽午後は作家・澤地久枝の講演と討論会。保育(事前申し込み)、手話通訳あり。問い合わせは☎(200)2300の市女性行政推進室。

催し



「「ひかりの村」建設のための友愛セール◆ひかりの家」11月25日(土)26日(日)10~15時、民間福祉

作業所「ひかりの家」(古沢妙代表)の手づくりクッキー▽ケーキ▽キャラメル▽和紙工芸品と日用雑貨など2千点を格安で。「村」は知的障害者と高齢者が暮らし仕事をする共生の家。3年後に建設。問い合わせは☎(455)0538のひかりの家。平間駅下車。

「たかつ音楽祭◆県立高津青少年会館」11月12日(日)12時45分から。合唱、ピアノ演奏▽写真は昨年。無料。問い合わせは☎(844)2101の同館。



「天体観望会◆川崎授産学園」11月18日(土)19時から。月、土星、冬の星座を観望。無料。雨、曇りは

集会。小学生以下は保護者同伴。問い合わせは☎(954)5011の同園。新百合ヶ丘駅からバス。

「歴史散歩の会◆笹の原地藏、増福寺ほか」11月18日(土)10時、梶が谷駅前集合。影向寺、能満寺ほか神社を歩く。無料。小雨決行。問い合わせは☎(766)9098の宗沢文良さん。多磨文化懇話会主催。

「映画劇場◆市民プラザ」12月2日(土)14時と18時から「スピード」を上映。キアヌ・リーブス主演。無料。先着5百人。申し込みは☎(888)3131の同所。梶が谷駅下車。

①11月18日(土)17時半から土星観望。雨、曇りは星の話②12月17日(日)12時から太陽を撮影。小学5年以上。定員先着14人。フィルム、一眼レフ持参。雨、曇り中止。いずれも無料。小学生以下は保護者同伴。申し込みは①自由②11月19日(日)9時から☎(922)4731の同館。自然

「天体観望会◆川崎授産学園」11月18日(土)19時から。月、土星、冬の星座を観望。無料。雨、曇りは

観察調査協力者も募集。

「ミニ観察会◆生田緑地」11月25日、12月16日の土曜9時から野鳥入門。雨天中止▽12月2日(土)14時から植物観察。雨天決行。いずれも筆記具、ルーペ、双眼鏡、図鑑持参。開始10分前に2日は市青少年科学館。他は同緑地東口駐車場に集合。問い合わせは☎(922)4731の同館。

「フェスティバル◆中部身体障害者福祉会館」11月19日(日)10時から。ボランティアの活動紹介▽手話コーラス▽朗読紙芝居▽点字紹介▽バザー▽模擬店。雨天決行。問い合わせは☎(733)9675の同館。

「リハビリ相談◆中部身体障害者福祉会館」毎月第2金曜は言語▽第3金曜は理学療法。いずれも13時半から。申し込みは☎(733)9675の同館。

①映画鑑賞会「おはん」

②ダンスパーティー◆麻生老人福祉センター①11月29日(水)13時半から。主演は吉永小百合。無料。定員2百人②は12月11日(月)

学習・文化情報

感動する音楽がある

13時から。200円。定員先着150人。60歳以上。申し込みは①当日②11月20日(月)から費用を添え来館 ☎(966)1549。新百合ヶ丘駅からバス。

〔伊勢原市日向薬師周辺の自然観察会〕◆小田急線伊勢原駅集合 11月11日(土)9時半に。自然植生について奥田重俊・横浜国大教授の話も。参加費300円。昼食、雨具持参。雨天は翌日。申し込みは ☎(954)1862の酒井さん。多摩区

の緑と水を考える会主催。〔専修大学鳳祭〕◆同大学生田校舎 11月9日(木)13時から仮葬・みこし行列、16時半からミニコンサート▽11日(土)10時からリサイクル・ウォークラリー、18時から永井真理子コンサート。全席指定、学内2千500円、ぴあ3千円▽12日(日)12時半から古田新太

の講演会、前売り600円、当日700円。問い合わせは ☎(922)2375の祭実行委。向ヶ丘遊園駅下車。〔上映会〕◆生活クラブ登戸地区館 11月18日(土)

14時から、「こみは警告する」資源循環型社会をめざしてパトリー・現状編、「こみは甦る」同パトリー2・実践編の上映と飯田和子さん(川崎、コミ連代表)の話。育児室あり。問い合わせ ☎(934)9175、環境を考え・地球を救おうの田口さん。向ヶ丘遊園駅下車。

ステージ

〔曽根麻矢子チェンバロ・リサイタル〕◆グリーンホール相模大野ほか 11月18日(土)。曲目はクーブラン「プレリユード」、ラモー

「クラヴサン曲集第3組曲より」ほか。入場料は全席自由2千500円、学生千円▽22日(水)、東京文化会館。曲目はケルル「トッカータハ長調」、ヘンデル「組曲第5番 ホ長調 調子のよい鍛冶屋」ほか。入場料はS席5千円、A席4千円。いずれも19時開演。問い合わせ ☎03(3470)2727のソティエ音楽工房。

〔民俗芸能公演〕◆日本民

家園 11月3日(金)13時から、旧船越の歌舞伎舞台で。入場無料。雨天は5日(日)に延期。問い合わせ ☎(922)2181の同園。

〔語りLIVE〕◆ミニホール新宿Fu 11月12日(日)14時半開演。出演は北川智繪、斉藤隆子、牧野朋子ほか。演目は落合恵子「遠い香り」、立原えりか「花嫁の季節」、藤沢周平「夜の道」。会費3千円。問い合わせ ☎(71)8032の話芸写(主催)。

会場はJR新宿駅東口下車。新宿永谷ビル階。〔清水高師バイオリンリサイタル〕◆靴ホール 11月17日(金)19時開演。曲目はベートーベン「バイオリンソナタ3、6、9番」。ピアノは渡辺健二。入場料は4千円。問い合わせ ☎(812)6090の同ホール。溝ノ口駅下車。

〔まちな音楽会クリスマスコンサート〕◆エポックなかはら 12月10日(日)15時開演。出演はオーボエ・小畑善昭、フルート・新谷

要一、チェロ・菊地知也、チェンバロ・新谷久子。曲目はバッハ「トリオソナタト長調 BWV1038」「無伴奏チェロ組曲第3番ハ長調 BWV1009」ほか。入場料は全席自由で前売り2千800円、当日3千円、学生2千円。問い合わせ ☎(866)4506のタウンライブ(主催)。

〔みやまえ「トーク・サロン」〕◆宮前市民館 11月11日(土)18時半開演。「東欧の不思議」をテーマに伊藤千尋・朝日新聞記者が宗教、民族、音楽の歴史やナゾに迫る▽ヴァイオリン奏者の斉藤牧子さんがルーマニア舞曲「チャルダッシュ」を独奏▽田園マンドリン・アンサンブルも。入場料千円。申し込み ☎(855)0111の鷺沼ミュージックセンター。宮前区文化協会主催。

〔マルケータ・ポスピシロバ ピアノリサイタル〕◆新百合21ホール 11月28日(火)19時開演。曲目はモーツァルト「幻想曲 ハ短調 K396」▽ベートー

ベン「悲愴ソナタ」▽ヤナークエック「霧の中で」▽柏木俊夫「奥の細道による気紛れなパラフレーズより」。マルケータは、プラハ音楽院卒後、ヨーロッパでオーケストラと共演、ソロ演奏でも活躍の若い音楽家。入場料は全席自由千500円。前売りは ☎(965)3077のプレイガイドテイ

他。問い合わせ ☎(955)6127の山田。

〔定期能〕◆川崎能楽堂 12月2日(土)14時から能「清経」。出演は田崎隆三ら▽16時から能「隅田川」。出演は本間英孝ほか。入場料3千円。前売りは11月2日(木)9時から ☎(222)7995の能楽堂。問い合わせ ☎(222)8821の市文化財団。

〔麻生フィル管弦楽団定期演奏会〕◆麻生文化センター 11月12日(日)14時半開演。曲目はブラームス「交響曲第4番」▽チャイコフスキー「バイオリン協奏曲」▽ワーグナー「タンホイザー序曲」。指揮は小田野宏之。独奏は海野義雄。

学習・文化情報

魅力的なスポーツがある



入場料は全席自由千円。問い合わせは☎(955) 1953の横須賀さん。

スポーツ

〔神奈川県ニューライフカレッジ公開講座・初心者向け〕
合気道◆登戸ドレスメーカー学院 11月25日(土)、26日(日) 10時半〜12時▽30日(木) 19時〜20時半。実技を通してストレス解消を写真。講師は小林道場師範・金祐三先生。受講料1回500円。運動着持参。申し込みは同学院へ午前中に電話かハガキで。多摩区登戸2141☎(911) 22

21 向ヶ丘遊園駅下車。
①健康体力相談②トレーニング講習会◆幸スポーツセンター ①11月〜来年3月の第2、3、4土曜(12月23日は除く) 16〜18時、体力向上のための助言指導。定員各回3人②12月〜来年3月の第1土曜16〜18時。トレーニングを始める方、トレーニング室を使いたい中学生を対象に、効果利用のための講習会。①②ともに費用は使用料のみ大人百20円、学生60円。運動着、運動靴を持参。要電話予約。☎(555) 3011 川崎駅からバス。
〔武道練習◆石川記念武道館〕次の曜日に武道の練習ができる①なぎなた 火・14〜16時半、土・15〜17時半②女性剣道 火・10〜12時半③剣道 火・木④柔道 火・木・土⑤空手道 土⑥合気道 土⑦少林寺拳法 木・土。③⑦はいずれも18〜20時半。対象は小学生以上。入館料学生・子供50円、大人百円。☎(544) 0493 鹿島田駅下車。

〔とどろきアリーナスポーツデー◆川崎市とどろきアリーナ〕曜日別に次のスポーツができる。エアロビクス 火・午前、夜▽木・夜▽金・午前。リフレッシュ体操 水・午前。バスケットボール 水・夜▽卓球・バドミントン 金・午後。トランポリン 金・午後。使用料大人300円、こども百50円。種目により指導者がつく。用具、室内靴持参。スポーツデーが中止のこともあり、事前に確認を。☎(798) 5000 武蔵小杉駅からバス。

ギャラリー

〔画廊ランブ屋〕11月9日(木)〜12日(日)「手の会展」七宝焼、漆器、一松人形など多摩区に住む伝統工芸作家の作品展。▽11月17日(金)〜27日(月) 神奈川芸術フェスティバル「ザ・版画」展。第2会場(ANEX)のみ入場料300円。☎(945) 4416 稲田堤下車。
〔川崎市市民ミュージアム〕

高齢者と障害者が共生する

「ひかりの村建設」チャリティコンサート

早瀬一洋 テノール・リサイタル ピアノ・中島慶子

賛助出演 ゆりがおか児童合唱団

指揮・山田榮子 ピアノ・西山淳子

12月15日(金) 午後6時30分開演 エポックなかはら

(JR南武線武蔵中原駅前)

- 曲 目 ベッリーニ・銀色の月マロッシェニ・踊りマトスティ・最後の歌マクルティス・忘れな草橋本国彦・お六娘マコダーイ・クリスマス羊飼いたちの踊りほか
 - 入場料 3,000円(全席自由)
 - 問い合わせ ☎(455) 0538のひかりの家、☎(434) 4771の早瀬
 - 主催 民間福祉作業所『ひかりの家』
 - 後援 川崎市、川崎市教委、川崎市生涯学習振興事業団、毎日新聞川崎支局
- ◆曲目は変更することがあります。収益金は、すべて「ひかりの村」建設資金に充てられます。

学習・文化情報

みたい絵画がある



△ 11月12日(日)まで
「海と人生」川崎臨海部もか
とれた頃」川崎臨海部もか
つて半農半漁の村。近代化
で失ったものは?▽写真ギ
ャラリー「満洲・シベリ
ア」新正卓+江成常夫 二
人展」戦後50年、2人の写
真家が問いかける戦争と日
本人の歴史▽漫画ギャラ
リ「漫画にみる」945
年」▽グラフィックギャラ
リ「芸術の楽しみ」世
紀末とアール・デコ時代の
展覧会ポスターを中心に。
入場料大人700円、小中高
大生300円。月曜休館。☎
(754) 4500 武蔵

小杉駅からバス。
「会館とどろき」11月5
日(日)まで「退職教職員
作品展」書道・園芸」▽11
月7日(火)「12日(日)
「同展」短歌・俳句・生け
花」▽11月14日(火)「19
日(日)「同展」絵画・彫塑」
▽11月25日(土)「27日
(月)「元木律子メツシユフ
ラワー展」☎(733) 3
333 武蔵小杉駅からバ
ス。
「ギャラリーばれっと」
11月11日(土)「30日(木)
ザ・版画」参加「安藤真
司版画展」花の幻想曲」
写真「風のあと」。日曜

・祭日休廊。☎(233)
8283 川崎駅下車。
「アートガーデンかわさ
き」11月11日(日)まで
「かわさき市美術展」▽11
月14日(火)「19日(日)
「飯塚玲児展」柯の会展併
催吉田東霽書陶展」▽11月
21日(火)「26日(日)「小
川傳旅情と青春の装い写真
展」西島武郎旧満洲風景画
展」茂木教室陶作サークル
展」白画会展」▽11月28日
(火)「12月3日(日)「奥
田美智子日本画展」▽12月
5日(火)「10日(日)「大
翔会美術連盟東京支部展」。
月曜休館。☎(222) 8
821 川崎駅下車。

小中生200円、65歳以上無
料。月・火曜休館。☎(9
53) 4936 読売ラン
ド前駅からバス。
「ミニ画廊喫茶」11月
1日(水)「25日(土)「柴
田雅廣風景写真展」☎(5
44) 0507 鹿島田駅
下車。
「ギャラリー華沙里」11
月7日(火)まで「神林茂
展」北信濃の街道筋を描く」
▽11月9日(木)「21日
(火)「ザ・版画」参加「高
木敏行の世界展」月の光の
中で」▽11月23日(木)「
12月5日(火)「佐野隆人展」
☎(954) 2333 新
百合ヶ丘駅下車。

「中村正義の美術館」11
月5日(日)まで「正義とそ
の仲間たち Part I」正義
と畔柳赫」展▽11月11日
(土)「12月10日(日)「山
下菊二と正義」▽11月18日
(土) 16時40分から「作家
のお話 篠原一男さんをお
招きして」東工大名誉教授
で当美術館の設計者篠原さ
んの講演。参加費千円(入
館料別)要電話予約。入館
料一般500円、学生300円、

会員募集



●プラザ大師を気にかける会(川崎区中瀬3の15の5、木村郁子代表)11月にオープンするプラザ大師を拠点に新しい地縁関係を結びながら楽しい女性の会を結成します。一緒にいかがですか。連絡は☎(266) 3895の代表宅へ。
●川崎中央合唱団《多摩区布田32の9、新井英樹代表》昨年の「川崎ぞうれっしやコンサート」参加者で作った合唱団です。幅広い年齢層で、全員、大人だけ子どもだけといろいろな合唱を楽しんでいます。月2回、土曜か日曜、県立多摩高他で。会費大人月3千円、小3以上2千円、小2まで千円、家族バック(何人でも)5千円。連絡は☎(888) 8365の刀祢まで。

おわび 10月号12ページ社労士資格試験準備セミナーの受講料5千円は5万円の誤りでした。

ミニニュース

低公害メタノール車 小誌の配送にひと役

当事業団に低公害の「M85メタノール自動車」が9月7日に試験導入され、小誌の配送やかわさき市民アカデミーの資料の運搬、連絡業務に活躍している。

通産省資源エネルギー庁が排ガス対策の一環としてメタノール85%、ガソリン15%で走行するクライスラー社のダッジ・イントレピッドを導入し、川崎市にNOx(窒素酸化物)・HC(炭化水素)・CO(一酸化炭素)の排出ガス測定や走行性能、燃費の実用性の調査を委託したもので、当事業団が3年間モニターする。

川崎市役所本庁舎前で行われた導入式典で、杉本寛助氏は「メタノールは将来の自動車燃料と期待されている。市は平成12年までにNO₂(二酸化窒素)の10%削減の公害対策を示している」とメタノール車導入

へ期待を込めてあいさつ。式典には小机實・教育長や大熊辰熊・当事業団副理事長ら関係者約50人が出席、試乗会も行われた(Y)。

INを魔術師のよこぐい...

エルベンの演奏会

ウィーン、ロンドンなど4大音楽都市で活躍しているアルバン・ベルク弦楽四重奏団のチエリスト、ヴァレンティン・エルベンのチエリサイトルが10月19日夜、洗足学園前田ホールで開かれた。

エルベンの演奏は、楽器に目を近付けて話し掛けるように音を響かせ、時には祭りばやしのように威勢よく弦を弾き、力強さとデリケートな音色。弦の上でワルツを踊っているように弓をあやつり、魔術師のよう

と観客を陶醉させた。

アンコールで、サン＝サーンスの「白鳥」をゆつたりと奏でると、観客から惜しめない拍手が送られた。

当事業団5周年記念演奏会で、エルベンにとつては日本ソロ・デビュー(Y)。

編集後記

先月号「天才的書の個性 開き注目される瀬崎竜彦さん(19)」は三八回の「いまを話す」の中

でも五指に入る反響がありました▼京王線稲田堤駅近くの「画廊ランプ屋」のオーナー、川松愛子さんは小誌掲載の竜ちゃんの本を見て「素晴らしい。他の人にはマネのできない個人的書個展を開きたい」と絶賛▼宮前区の主婦は「長男が知的障害。竜彦さんの母親の『どんな子供も絶対に個性を持っている』との言葉に励まされた」と言います▼実は「彼をゲストに」と読者から推薦をいただき「ほとんど話せないゲスト」に躊躇したのです▼「人への伝達手段は言葉、文字」との固定観念により、ボツにする過ちを犯すところでした▼映像は時として人を惑わせますが、今号「いまを話す」の千葉茂樹さんの映像は「草の根の国際貢献」の在り方を示唆しています。

第7回 かわさきニューイヤーコンサート

□かわさき新人音楽会□

'96年1月14日(日) PM 2:00 開場 PM 2:30 開演

麻生文化センター大ホール (小田急線新百合ヶ丘駅下車)

入場料 1,000円 (全席自由)

- 出演 公開オーディション合格者
渡辺 美奈・中山 美知・笠井 祐子・釣 由美・木下 順子(以上ピアノ)
南條 由起(ヴァイオリン) 芹ヶ野 恵(フルート) 白岩 真紀(トロンボーン)
古谷 享子(サクソフォーン) 山下 真理(マリンバ)
本居 麻波・永井 雅子・鈴木 結子(以上ソプラノ独唱)
- チケット発売 (財)川崎市生涯学習振興事業団 ☎952-5000
当事業団情報コーナー ☎233-6250・各市民館
- 問い合わせ 当事業団小杉分室(文化イベント事務局) ☎422-3932

主催 (財)川崎市生涯学習振興事業団/川崎市教育委員会

好評前売り中

貯めるコツ、あります。

あなたのプランに、ピッタリの預金はどれですか？

期間が選べる手軽な定期預金。

スーパー定期/スーパー定期300

1年たてばお引き出しもOK。

ワイド定期 期日指定定期

自由に使えて有利にふやせる。

貯蓄預金10/30

半年ごとに新しい金利を適用。

変動金利定期預金

給料天引きで有利に計画貯蓄。

財形貯蓄 虹の預金

やっぱり、
ボーナスは
わっかんたね。



★お問い合わせ・ご相談は、お近くの神奈川県労働金庫〈ころうきん〉へどうぞ。

川崎支店 ☎ 044 (244) 8331

中原支店 ☎ 044 (733) 0161

川崎南支店 ☎ 044 (277) 8211

新百合丘支店 ☎ 044 (989) 1111

“ゆとり”に 差がでます。



TOM & JERRY
©1995 HUNTER INFORMATION CO. ALL RIGHTS RESERVED.

年金のことは〈はまぎん〉へご相談ください。

年金の「受取手続き」をはじめ、
いろいろなお手伝い。

年金受取ご予約サービス

年金のすべてを専門家が
分かりやすくご案内。

〈はまぎん〉の年金教室

毎月15日、年金自動受取をご利用の
皆さまに「特設窓口」を開設。

〈はまぎん〉年金感謝デー

お問い合わせ・お申し込みはお近くの〈はまぎん〉へどうぞ。

お問い合わせ・お申し込みは **横浜銀行** **川崎支店** (044)222-5521(大代)

発行

(財)川崎市生涯学習振興事業団
電話 044(952)5000代

〒215 川崎市麻生区万福寺一の二、新百合21ビル
FAX 044(952)1350 編集人・田中 園